

参加型教材実験プロジェクト

8月23日（日）13:00～15:00

教材を手掛かりに参加者の発想を交流し、どんな授業ができるか構想する実験的なプロジェクトです。

I 北海道支部・東北支部（1階 小ホール）

ヴィヴァルディの「夏」を題材にミュージッキングを楽しむ
—演奏・ダンス・紙芝居等々…流動的かつ垣塙（るつぼ）的に—

- 芳賀 均（北海道教育大学旭川校）
- 安久津太一（岡山県立大学）
- 壽谷 静香（武庫川女子大学）
- 森 健一郎（北海道教育大学釧路校）
- 盛田 祥史（北海道教育大学大学院生）
- 加藤 優菜（北海道愛別町立愛別中学校）
- 渡会 純一（東北福祉大学）
- 吉田 圭祐（福島県南会津町立南会津中学校）



ミュージッキングは、演奏・聴取・作曲・リハーサル・ダンスに加え、チケットのもぎりや会場清掃など、音楽パフォーマンスへのあらゆる参加を含む考え方です※。その大らかさは参加の障壁を下げ、一つの場に多様な行為が混在して相互に影響し合う、流動的・垣塙的な展開が期待できる点に特色があります。多様な学びを包み込み、すべての子どもを包摂するインクルーシブな教育実践にもつながる可能性があります。本企画では、リコーダー、バイオリン、エレキギター、カスタネット等の楽器、歌、踊り、夏にまつわる絵本やグッズ、紙芝居、ICT機器、読書なども含め、思い思いに楽しめます。可能な方は楽器（何でも可）や身の回りのグッズ等、活動が楽しくなりそうなものをご持参ください。

※スモール=クリストファー著／野澤豊一・西島千尋訳：「ミュージッキング—音楽は〈行為〉である—」水声社、pp.30-31、2011.

II 東京・関東支部（3階 大会議室）

「詩」を素材とした声による音楽表現
—つくり手と聴き手による「意図」の共有—

- 金田美奈子（文京区立青柳小学校）
- 桑原 章寧（貞静学園短期大学）
- 酒井 一樹（ドルトン東京学園中等部・高等部）
- 塚本 靖則（横浜国立大学附属横浜小学校）
- 福多 朝子（川崎市立西丸子小学校）
- 松本 絵美子（元国立音楽大学附属小学校）
- 宮澤 多英子（川口短期大学）



本プロジェクトでは「詩」を素材にして、「声」で表現する音楽づくりの模擬授業を実施します。まず、4人程度の小集団で詩を音読します。次に、[共通事項]の中から工夫の手立てとなる要素を明確にした上で、表現の仕方を工夫して「声」による音楽づくりをします。その後、二つの小集団が一緒になり、互いの作品を聴き合い、各々の意図を共有します。最後に、参加者全員で、「意図」の共有について、経験したことを基に交流します。本プロジェクトでは、参加者一人一人による広い視点、多様なアプローチから教材としての可能性を見いだすことを目的としています。声でどのような表現ができるのか、詩そのものをどのように声で表現するのかということについて、共に考えていきましょう。